

天に星が瞬く時
祝詞を奏し
護摩を焚き
星神を降ろす
今宵は七夕
祈りの夜



17:00~18:00 大般若祈祷

開運厄除・先祖の追善冥福を祈る

当山星祭の大般若祈祷(だいはんにゃきとう)では、ご先祖さまにお盆始めの燈明を献じ、本堂において大般若經600巻を声高らかに転読し、私たちの生まれ年の干支によって定まる一生の禍福や寿命を司る本命星(ほんみょうじょう)が属する北斗七星に法樂を捧げて、皆さまの一年の後半の開運厄除とご先祖さまの追善冥福を祈ります。



大般若經(だいはんにゃきょう)

『大般若經』は、西遊記で有名な三蔵法師こと玄奘三蔵が、往復3万キロ、17年の歳月をかけてインドより中国に持ち帰り、4年をかけて漢訳された全600巻に及ぶ膨大な巻数の經典です。この經典を書写し、読誦し、思惟して教えの如くに修行する者は、般若十六善神によって守護せられ、除災招福の功德を受けるとされます。



20:00~ 星空に思いを 星空法話

当日受付 各種祈願申し込み



16:00~ たなばた縁日



第12回

七夕星祭

令和7年8月7日

木曜日 雨天決行

どなた様もお参りください

星の道場 常光寺

たなばたほしまつり

19:00~ 僧侶と神職がともに祈る 神仏習合の七夕護摩供養

星の都さよう 星の道場 常光寺 × 七曜星降臨の地 星田妙見宮



星の道場 常光寺は、星の都である佐用町の中心に位置し、星の王さま妙見菩薩(北極星)を祀る真言密教の祈願寺です。当山では旧暦に則した毎年8月7日に『七夕星祭』を厳修しております。そのメインとなる法要は、19時から境内において古くから七夕伝説の残る大阪交野市より星田妙見宮さまをお迎えして行う神仏習合の護摩供養です。当日は佐用の星空を仰ぎ、僧侶と神職によって焚かれる厳かな護摩の火に想いを託しましょう。また、今夏より初公開となる当山本堂の後戸(うしろど)において「後戸の大事」という特別な祈祷が執り行われます。全国的にも稀なこの神仏習合の星祭へのご参拝を心よりお待ち申し上げます。

初公開・後戸の大事(うしろどのだいじ)

後戸とは本堂において本尊を祀る内陣後方の神聖な場所のことをいいます。希望者は19時からの護摩供養において、特別に後戸に案内され8月7日の星祭にのみ祀られる、後戸の妙見菩薩、の神前において「後戸の大事」をお受けにすることができます。



▲後戸の妙見菩薩

★ 佐用、そうだ 行こう。★



星に祈り 星を祀る 星の道場
高野山 真言宗 分立山 常光寺

〒679-5341 兵庫県佐用郡佐用町横坂164 TEL.0790-82-3055・0790-82-2898(文殊庵)
WEB:http://www.bunritsu.com 星の道場

お問合せ:寺務所 文殊庵 0790-82-2898 MAIL:mail@bunritsu.com



公式ホームページ

